

第164回 市町村職員等を対象とするセミナー

地域における「健康的で持続可能な食環境づくり」の推進

～産業振興、地域創生にも資する産学官等連携による新たな食環境づくり～

自治体内外リソースを活用した食環境づくり

富山県入善町における

減塩いいね！プロジェクト



元気わくわく健康課保健センター

主任管理栄養士 西島 千恵子

令和5年2月3日（金）



入善町の概要 (令和4年4月1日現在)

人口 **23,431人**

65歳以上人口 **8,692人** (高齢化率 37.1%)

世帯数 **8,912世帯**

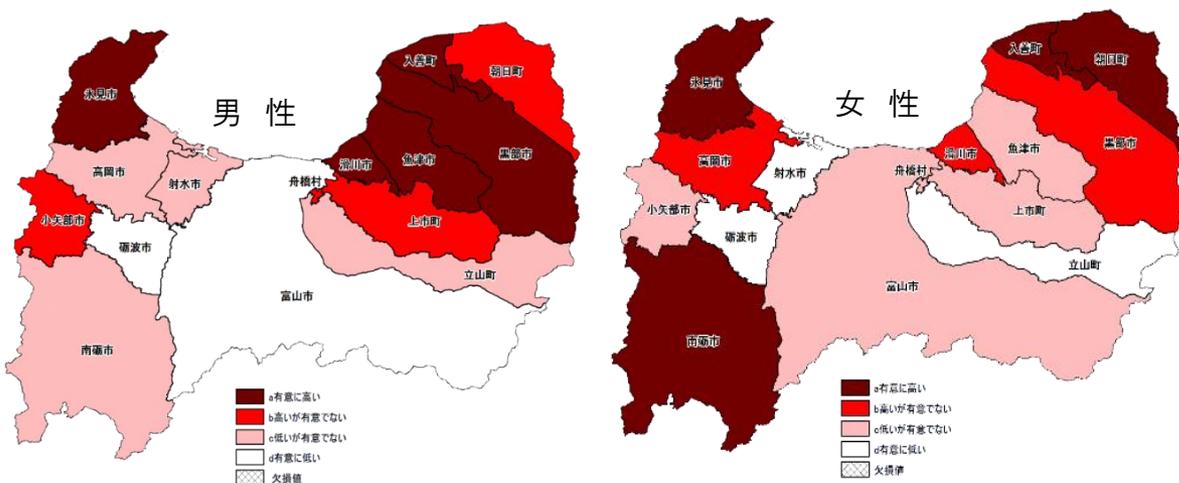
学校、保育所
保育所7か所
小学校6校
中学校2校
高等学校1校



1. 事業実施の背景①

入善町では、高血圧症や脳血管疾患などの循環器疾患の増加が医療費を押し上げていた。循環器疾患の要因の一つとして、食塩の過剰摂取があげられるが、町民の食塩摂取量が不明であった。

拡張期血圧の県内市町村比較地図 (※) 拡張期血圧 ≥ 85 mmHg



●生活習慣病患者の高血圧重複率 (平成26年5月診療分)

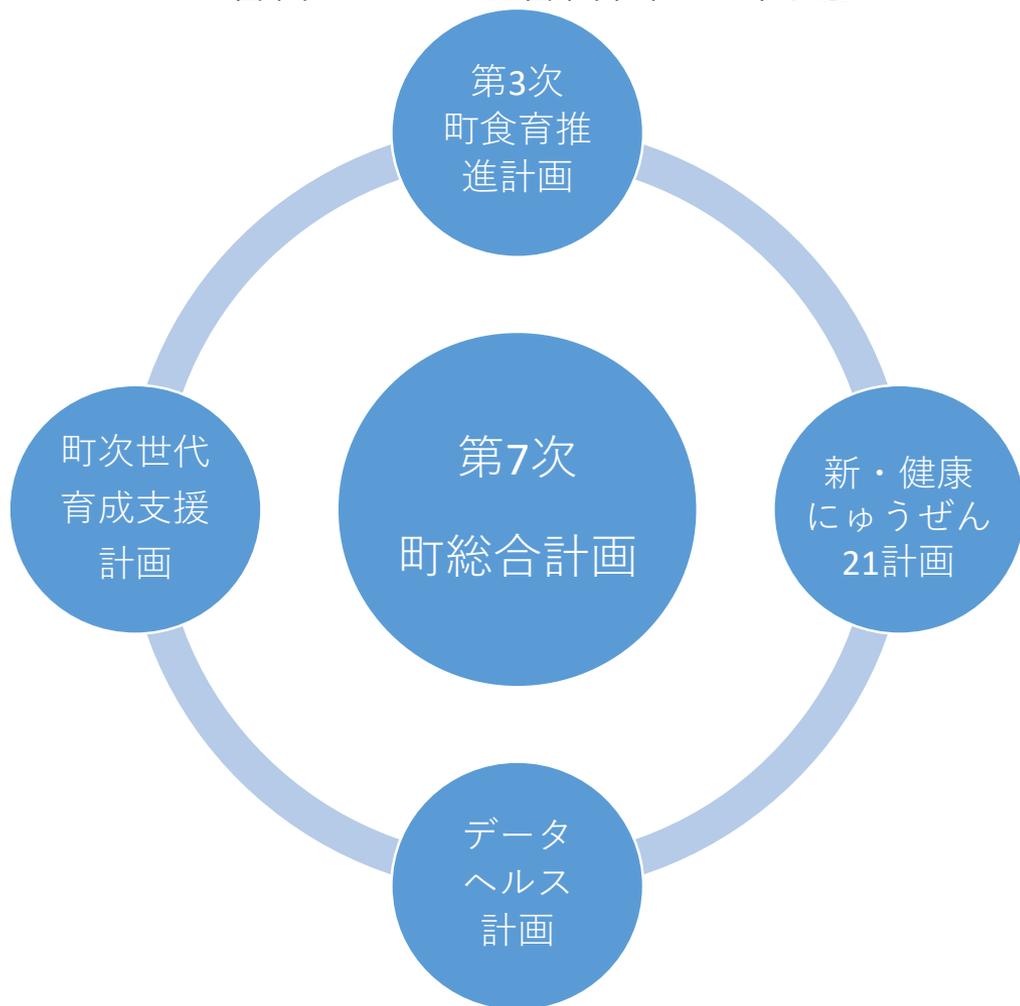
患者の疾患	高血圧重複率
脳血管疾患	73.5%
心疾患	73.3%
糖尿病性腎症	88.2%

参考
入善町国民健康保険保健事業実施計画
(データヘルス計画)
平成27年度～平成29年度
(平成27年10月 入善町)

参考
平成27年度特定健康診査データを活用したリスク因子状況の分析結果
平成27年度における健診受診者(40～74歳) 169,624名
(内訳) 市町村国保特定健診受診者+協会けんぽ健診受診者
—全国健康保険協会富山支部 富山県厚生部厚生企画課—

1. 事業実施の背景②

各課における各計画との関連



他部局担当者より

- 町長、自らが方向性を示すことで職員間での情報共有や理解が容易に進み取り組みやすかった。
- 「減塩」という具体的なキーワードを事業名に取り上げてあったので、周知しやすかった。



事業の実施体制



教育委員会事務局 管理栄養士 1名（学校給食の栄養管理等）
結婚・子育て応援課 管理栄養士 1名（保育所の栄養管理等）

※産休等職員は除く

【入善町の動き】

平成18年4月 教育委員会事務局内に「食育・栄養指導係」を新設
管理栄養士3名に併任辞令
平成18年12月 町食育推進会議条例施行
平成19年12月 町食育推進計画策定
平成25年3月 第2次町食育推進計画策定
平成30年3月 第3次町食育推進計画策定

「減塩いいね！プロジェクト」の立ち上げ

減塩対策

健康寿命
の延伸

人口の
自然減の
抑制

ストップ
人口減少

減塩いいね！協力店任命書交付式



みそ汁調査隊の訪問の様子



産 民

(スーパー等)

(住民)

減塩いいね！
プロジェクト

(役場)

(教育委員会・
小学校)

官



子どものための減塩いいね！教室



減塩いいね！作文表彰式

2. 減塩いいね！プロジェクトの立ち上げ

広報の表紙と特集ページ

① 広報担当者との連携で情報発信の適切な時期やキャッチしてもらえる内容について学ぶ！



広報入善より

地元新聞やTVで取り上げられました



② ネーミングの大切さを知る！

減塩いいね！プロジェクト

→ SNSで利用されている「いいね！👍」

突撃！隣のみそ汁調査隊

→ TV番組で放送されていたネーミングに類似



3. 事業概要

事業開始 平成29年度～

・ 目的

減塩意識の向上により、高血圧の人が多いという健康課題を解決し、健康寿命延伸による人口の自然減の抑制を図るため実施する。

産官民が連携し、毎月第3週の「減塩いいね！週間」中に減塩・野菜摂取の普及啓発に取り組み、無関心層も含め自然に健康になれる食環境づくりを行うことを目的とする。

課 題	<ul style="list-style-type: none">・ 30～50代の塩分摂取量が多い(42%)・ 10～40代の野菜摂取量が少ない(8%) <p>令和2年度みそ汁調査隊調査結果より</p>
-----	--

みそ汁調査隊のアンケート結果等により毎年の目標と課題を設定

解決手段	減塩・適塩を産官民連携して幅広い世代に広め、行動変容へ繋げる。
------	---------------------------------

目 標	<ul style="list-style-type: none">・ 30～50代の塩分摂取量が多い割合の減少 42% → 40%・ 10～40代の野菜摂取目標量達成率の増加 8% → 10%
-----	--

改 善	<ul style="list-style-type: none">・ 適塩のみそ汁の割合が増加 (87.5%→93%)・ 塩分を多く摂取している割合が減少 (34.9%→28.8%)
-----	---

産 (スーパー等)

- ・ 減塩いいね！協力店による普及啓発
- ・ 健康キャンペーンの実施
- ・ 塩分測定器の購入補助 (H30～R1年度)
ホームセンターや電気屋等(15店舗)にて

官 (役場、小中学校)

- ・ 減塩作文の募集 (小学生)
- ・ 小中学生へ情報発信(給食日より)
- ・ 減塩いいね！料理教室の開催
- ・ 子どものための減塩いいね！教室の開催
- ・ 出前講座
- ・ 食生活改善推進員による地区伝達教室
- ・ 子育て世代の教室での普及啓発 (プレママ、産後ママ教室等)
- ・ SNS(ホームページ等)での情報発信
- ・ 全戸配布チラシによる情報提供
- ・ 週間制定記念講演会の開催 (R2年度)

民(住民)

- ・ みそ汁調査隊による調査の継続 (減塩食品と野菜料理の普及)



4. 取り組み内容

産 (スーパー等との連携)

- 町内スーパー等へ「減塩いいね！協力店」を募集し、事業の普及と協力を依頼
- 協力条件の設定(店の負担軽減を第一に、該当条件が2つ以上あれば登録可能)
- 協力店の普及啓発(新聞やケーブルテレビ等のマスメディアの活用、協力店マップをポスターやチラシに掲載し企業や学校、公民館等に掲示)



減塩いいね！協力店認定証交付式



減塩食品のコーナーを設置



減塩食品にポップの設置



4. 取り組み内容

官 (役場等での取り組み)



「減塩いいね! 週間」の制定
(毎月第3週)



子どものための減塩いいね! 教室の開催



講演会の開催



町のマスコットキャラクター
ジャンボ〜ル三世



町のマスコットキャラクターを
使ったロゴマークの作成



ロゴマークの活用

(ポスター、レシピ、のぼり旗、
ジャンパー等)



事業実施時は
ジャンパーを着用

4. 取り組み内容 町広報誌での情報発信

広報入善より

2006年(H18年) 5月～
町広報誌にて「食育の知恵袋」開始
●①

2010年(H22年)4月～
「食育の知恵袋」で四コマ漫画開始
●②

2017年(H29年)7月～
四コマ漫画で減塩シリーズ
がスタート
●③

2022年(R4年)11月～
連載200回達成
●④

～四コマ漫画ができるまで～

元気わくわく健康課

- ・キャラクター設定
- ・ストーリー作成

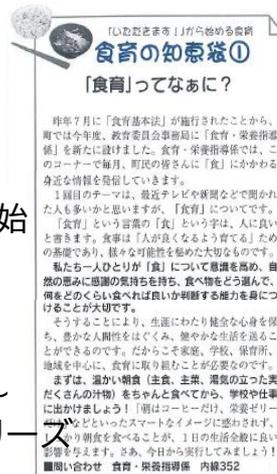
広報誌担当課

- ・ストーリー修正等

印刷業者

- ・イラストレーターによる作図

①



②



③



④



4. 取り組み内容

官

(教育委員会事務局、小学校との連携)



- 1 学期 教育委員会事務局へ作文募集を依頼
教育委員会事務局より校長会へ依頼
- 夏休み 減塩に関する作文を募集
- 2 学期 作文の回収、審査(第1次、2次、3次審査を経て賞を決定)
表彰式の開催
作文を町ホームページに掲載
小学校から保護者へ町ホームページの紹介
講演会での作文朗読



4. 取り組み内容

民（みそ汁調査隊(住民)と連携）



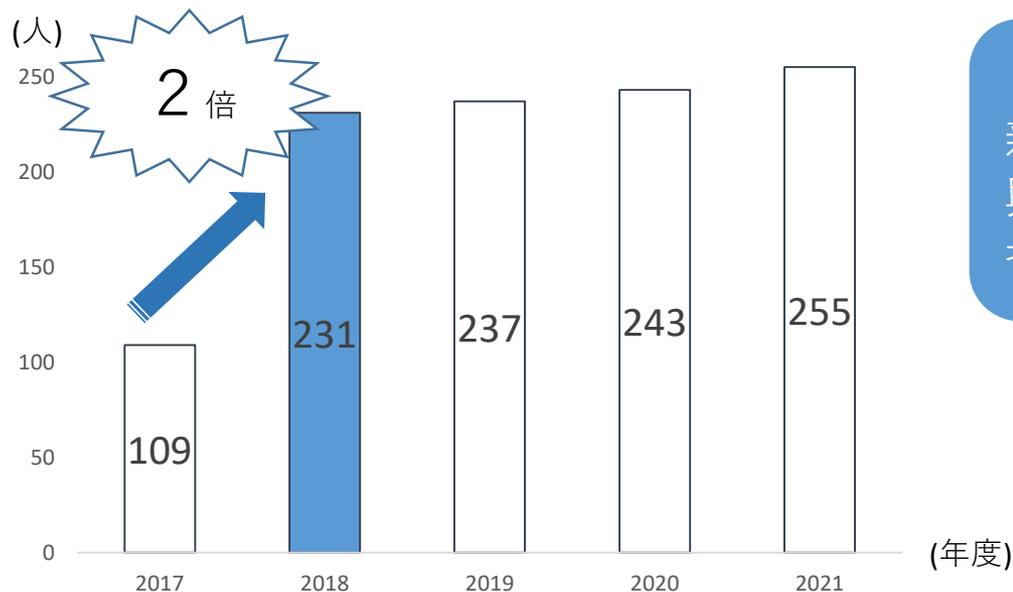
みそ汁調査隊の皆さん



みそ汁調査隊出陣式の様子
(2019年)



みそ汁調査隊訪問の様子
(2019年)



みそ汁調査隊員数の年次推移

【隊員数の増加理由】
新聞やTVに取り上げられたことで、
興味関心を持った人が増えたことが
考えられる



5. 事業の評価

令和3年度事業目標と結果

	項 目	昨年度 (R2年度)	目 標 (R3年度)	現状値 (R3年度)	判定
1	みそ汁の塩分濃度が標準または薄い家庭の割合 (標準0.9%、薄い0.3~0.7%)	93.3%	95.0%	93.1%	△不調
2	塩分を多く摂取している10代以上の住民の割合 (塩分チェックシート合計点数14点以上)	28.8%	28.0%	24.4%	☆達成
3	1日の野菜摂取量を達成している住民の割合 (10代以上の住民)	24.7%	27.0%	22.0%	△不調
4	減塩食品の認知度 (10代以上の住民)	82.0%	87.0%	94.0%	☆達成
5	減塩いいね!協力店の登録店舗数	6店舗	13店舗	9店舗	○やや改善
6	子育て世代の減塩活動認知度 (パパママ教室、プレママ教室等参加者アンケート)	64.1%	65.0%	32.0%	△不調
7	高血圧者 (国保+協会けんぽ、収縮期130mmHg以上)	43.5% (H30年)	45.5% (R1年)	45.9% (R1年)	△不調

達成度と判定

☆	達 成	目標値を達成
◎	改 善	達成度(※)が60%を超えている
○	やや改善	現状値が昨年度より改善しているが、達成度が60%以下
△	不 調	現状値が昨年度より改善されていない

(※) 達成度：(現状値 - 昨年度) / (目標値 - 昨年度) × 100

項目1~4：みそ汁調査隊の訪問アンケート結果より、塩分チェックシート（監修：社会医療法人製鉄記念八幡病院 院長 土橋 卓也先生）に追記した訪問シートを使用
 項目6：20~40代のパパやママへのアンケート
 項目7：特定健康診査結果

6. 課題

- ・ 若い世代を巻き込んだ普及啓発

- ▶ 減塩は味覚が育つ子どものおときから、継続していくことが大事であり、これから子育てを行う世代や子育て中の世代への啓発が必要であるが、これらの世代に対し、効果的なアプローチとして何を行っていけばよいか。

- ・ 減塩食品の美味しさの更なる普及啓発

- ▶ みそ汁調査隊の訪問結果から、町内における減塩食品の認知度は年々高くなっている。しかし、その使用頻度や継続性は不明。減塩食品の美味しさや利便性（従来品から置き換えるだけ）が浸透していくためにスーパー等とどう連携していくか。



7. 都道府県への要望・連携したい事

・ 県の減塩活動の更なる発展

- ▶ 県が実施する減塩活動が強化されることで、市町村への波及効果が高まり、市町村単位での活動がより実施しやすくなると考える。

・ 情報の共有

- ▶ 現在、どの市町村で減塩活動を実施しているのか、実施している市町村ではどんな内容なのかが必ずしも明らかではない。
県内を始め、全国の市町村での好事例を簡便に把握できる仕組みがあるとありがたい。
- ▶ 県事業と市町村事業を同時期に開催するなど、県民の皆さんがより多くの情報や体験ができる機会を設けることで、更なる普及啓発が期待できるのではないかと。

